

1	事業名称	冬の高遠フェスティバル			
2	新規・継続	継続	7年目		
3	趣旨	国立信州高遠青少年自然の家を家族やグループ等に広く開放し、冬の様々な体験活動や交流を通して、自然体験活動への興味関心を育てるとともに、当自然の家を仲間との交流の場として周知することを図る。			
4	期日・期間	回数	開始日	～	終了日
		1回	2015年2月7日（土）	～	2015年2月8日（日）
5	実施場所	国立信州高遠青少年自然の家			
6	募集人数	400人（宿泊参加募集300人 日帰り参加募集100名）			
7	共催・協力・後援	後援：伊那市 伊那市教育委員会			
8	参加者人数	268人（宿泊参加者223人 日帰り参加者45人）			
9	参加者類型	高校生以上の大人117人、中学生2人、小学生105人、小学生未満44人			
10	参加者地域	長野県50団体、山梨県6団体、東京都5団体、愛知県2団体、埼玉県2団体、その他5団体			
11	参加者分析	・県内、近隣県外の保育・幼稚園、小学校、及び利用団体等にダイレクトメールでチラシを送付し、このことによってフェスティバルに申し込んだという参加者が多かった。			
12	アンケート満足度	満足	やや満足	やや不満	不満
		65.7%	25.7%	5.7%	2.9%
13	アンケートの主な記述	<ul style="list-style-type: none"> ・かまくらづくりをしたい。（同様のコメント他3件） ・そり大会は親は見ているだけ。（中学生以上の部門の要望と思われる。同様のコメント他2件） ・いままで6～7回参加。毎年新しい友達ができたり、1年ぶりの再会があったり、楽しみにしていました。 ・スタッフの方々が優しくてよかったです。（同様のコメント他3件） ・全体的に案内がしっかりしていたので、迷わず楽しめました。 ・ご飯もおいしく宿泊所も快適でした。（食事がおいしかったとのコメント他2件） ・食事の時間がいつも遅いほうで、次のプログラムに忙しい。1日目と2日目を入れ替えてほしい。 			
14	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・初日の雪の活動では、そり遊び、雪遊び、スノーシュー、歩くスキーを親子で体験し、また、他の人と交流を深めることができた。 ・スノーキャンドルは、家族で協力して製作することができ、家族の絆を深めることができた。 ・そりすべり大会は、約86組が小学校低・中・高学年、親子の部の4部門に分かれタイムレースを行い、全力を尽くして記録に挑む充実感を味わうとともに親子の絆を深めることができた。 			
15	今後の課題	・運営面において、各担当ごと（ボランティア等を含めた）の打合せを十分に行い、参加者への説明等に差が出ないようにすることが肝要であるが、その時間の捻出に検討を要す。			
16	担当者メモ	・多くのボランティア（教育参加等を含め）の補助があったが、準備不足で無駄な時間を作ってしまった。今後の課題とあわせ、効率的に作業を進めることにより、参加者とスタッフが関わる時間をもっと増やせたらよいと感じた。			

プログラム展開		
日程・時間	プログラム	備考
1日目		
活動場所	国立信州高遠青少年自然の家	
13:00～	・はじめの会	
13:30～15:30	<ul style="list-style-type: none"> ・雪遊び ・そり遊び ・スノーシュー ・歩くスキー 	
16:00～17:00 18:30～21:30	<ul style="list-style-type: none"> ・スノーキャンドル作り ・スノーキャンドル点灯 	
2日目		
活動場所	国立信州高遠青少年自然の家	
8:30～12:00	<ul style="list-style-type: none"> ・そりすべり大会（小学校低・中・高学年の部、親子の部） ・雪遊び ・スノーシュー ・歩くスキー 	
13:30～14:00	おわりの会・表彰式	



「雪遊びの様子」



「そりすべり大会の様子」



「スノーシューの様子」



「終わりの会・表彰式の様子」